



2013年12月期第2四半期決算概要

(2013年1月1日～6月30日)

ハイブリッド・サービス株式会社

2013年8月12日

2013年12月期第2四半期 決算概要

01 | 連結損益（前期比）

[単位：百万円]

	2012/12期 第2四半期	2013/12期 第2四半期	増減
売上高	10,665	10,140	▲4.9%
営業利益	213	▲25	—
経常利益	154	▲41	—
当期利益	95	▲28	—
1株当たり 当期純利益	1,961.24 円	▲584.65 円	▲2,545.89 円

ポイント

- 為替レートが円安に進行したことによる輸入商品の仕入原価高騰
--> 継続的かつ想定を上回る急激な円安の進行に見合った価格への転嫁ができず売上・利益が減少

02 | 連結損益（計画比）

[単位：百万円]

	2013/12期 第2四半期	当初計画 2/8公表	➡ 増減	修正計画 6/19公表	➡ 増減
売上高	10,140	10,085	+0.5%	10,300	▲1.6%
営業利益	▲25	100	—	▲24	—
経常利益	▲41	80	—	▲42	—
当期利益	▲28	51	—	▲25	—
1株当たり 当期純利益	▲584.65 円	1,043.48 円	▲1,628.13 円	▲511.51 円	▲73.14 円



03 | 方針と取組の成果

— 市場環境 —

政府の経済政策への期待感や日銀の異次元金融政策等を背景に、一段と円安、株高が進行し、輸出企業を中心に企業業績は改善の兆しが見られた。一方で継続的かつ急激な円安の進行を背景に輸入商品の仕入価格高騰により売上総利益が大幅に減少

— 第28期方針 —

■ 組織・体制の強化

— 人員増強による営業体制の強化

地方：エリア別・首都圏：職域別の人員配備
中規模顧客への営業機会の増加とサービスの向上

— 統制環境の再編による牽制機能強化

コンプライアンス強化と業務プロセスの最適化

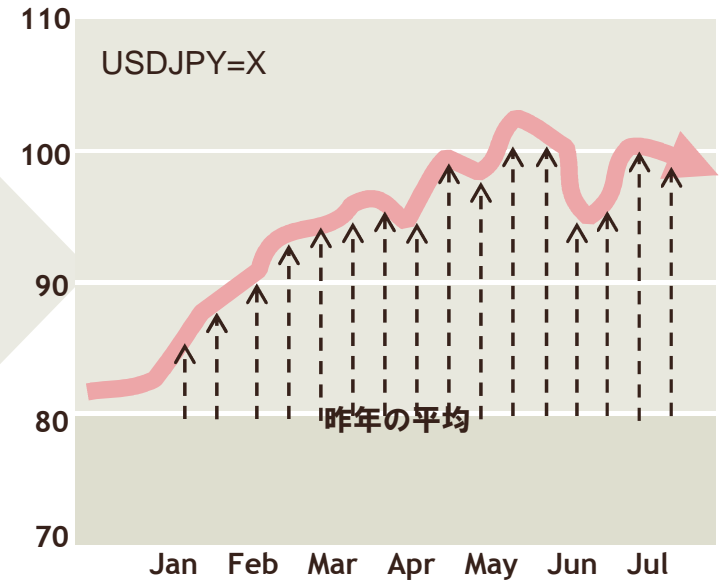
■ プラットフォーム活用による需要開拓

— 既存顧客の活性化・最大化

新規商材の導入・未獲得品提案によりクロスセリング推進

— 既存商流を活かした新商材開拓

マーケティングサプライ品に限らない分野の新規商材の開拓



— 取組みの成果 —

営業人員を増員し、お客様サポートを強化

産業用太陽光発電システムの販売を開始

ゼネコン向けコントラクト家具の販売を開始

今期、約300アイテムを新規に投入

ハードウェア販売 (プリンター半期で約1,000台)



04 | SAMホールディングスとの資本業務提携

2013.6.21 SAMホールディングスによるTOBへの賛同表明・資本業務提携

賛同した理由

- SAM社代表の佐藤氏の保有する建設・不動産業界の関係性活用し、建設・不動産業界への輸入家具や太陽光発電システム等の販売の展開などによって当社の収益の向上が見込める
- 公開買付者からの経営参画によりコーポレート・ガバナンスの更なる強化を図り、当社の企業価値の向上に寄与する
- 公開買付け成立後も引き続き当社株式のJASDAQ市場への上場が維持されること

2013.7.23 TOB結果の公表

- SAMホールディングスが当社株式26,778株(議決権比率54.79%)を取得

親会社・筆頭株主の異動

- SAMホールディングスが当社の筆頭株主・親会社となる
- エフティコミュニケーションズ・光通信が当社の筆頭株主・親会社でなくなる

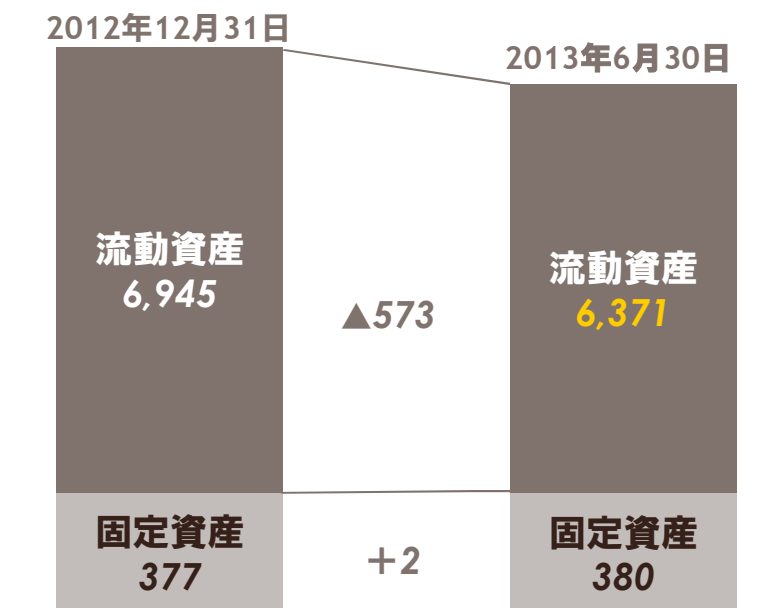
商号	株式会社SAMホールディングス
本店所在地	東京都新宿区新宿二丁目5番10号
代表者の役職・氏名	代表取締役 佐藤昌弘
事業内容	投資事業
資本金の額	9百万円(平成25年6月21日現在)
設立	平成25年3月8日
大株主及び持株比率	佐藤昌弘 900株(100%)

05 | 連結貸借対照表

ポイント 売上債権・在庫の減少、仕入債務・借入金の減少

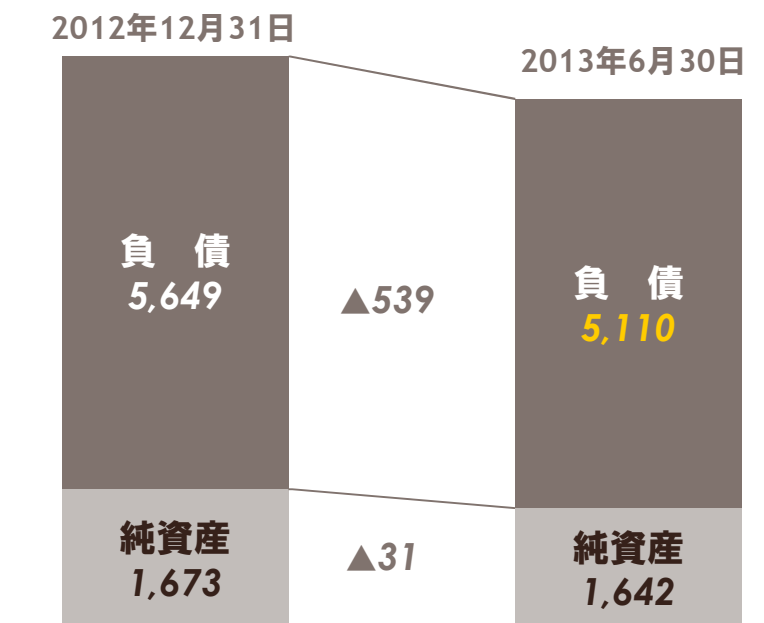
[単位：百万円]

■ 資産の部



- 売上債権の減少 ▲670
- 在庫の増加 +107

■ 負債・純資産の部

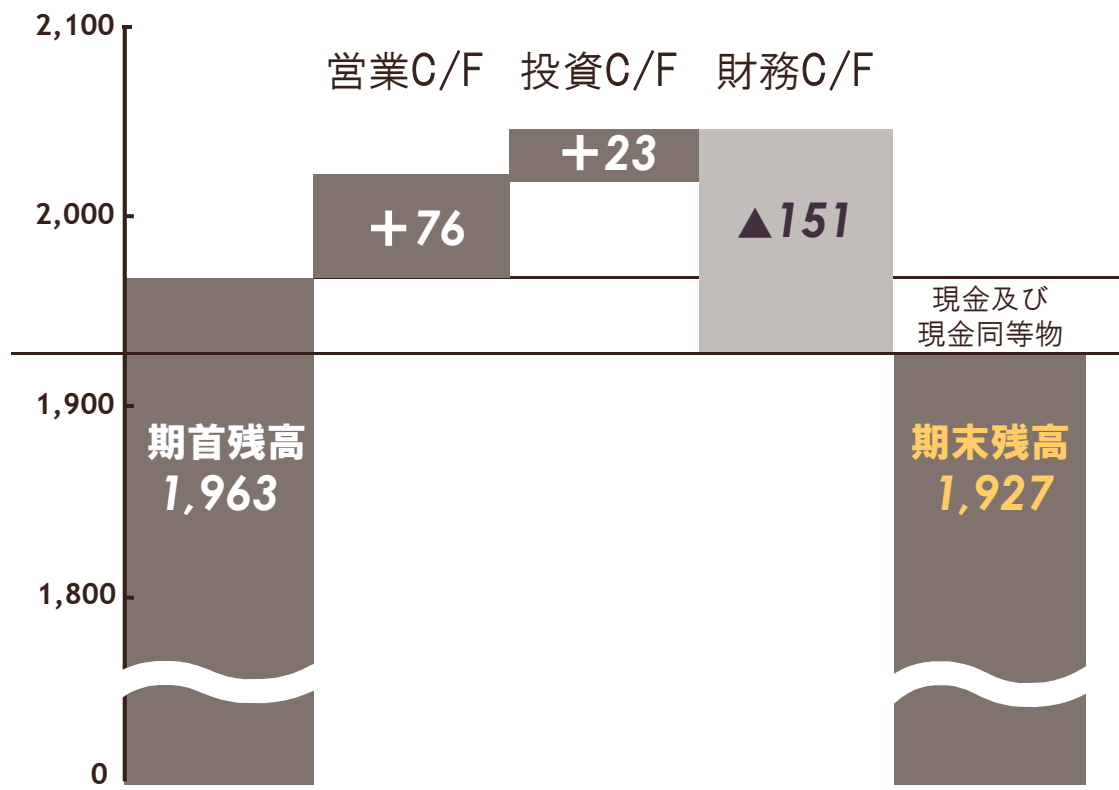


- 仕入債務の減少 ▲446
- 借入金の減少 ▲127

06 | 連結キャッシュ・フロー

ポイント 営業活動・投資活動により資金獲得、財務活動で使用

[単位：百万円]



増減額

▲36

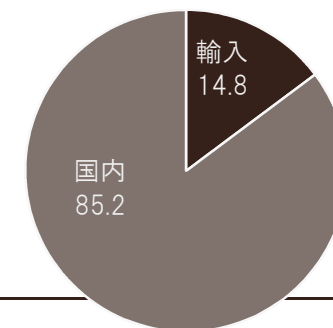
売上債権の減少	+679
仕入債務の減少	▲499
たな卸資産の増加	▲88
借入金の減少	▲127

	2012/6	2013/6
営業C/F	119	76
投資C/F	▲12	23
財務C/F	▲170	▲151

07 | 事業のセグメント別概況

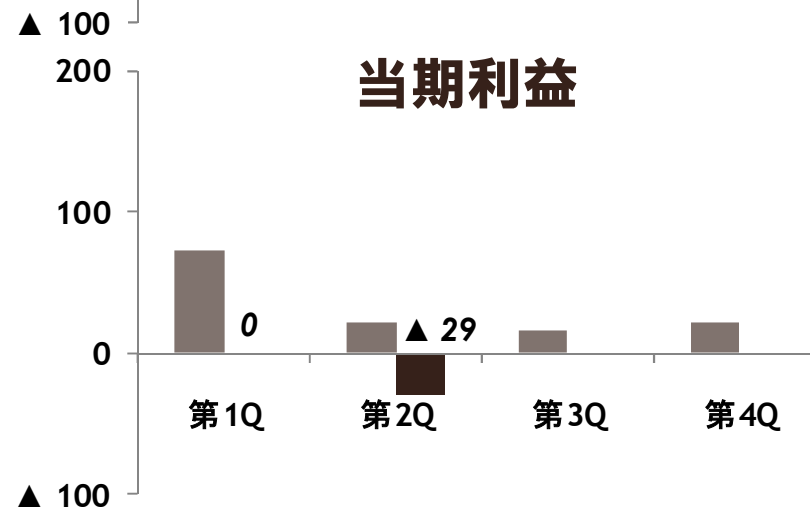
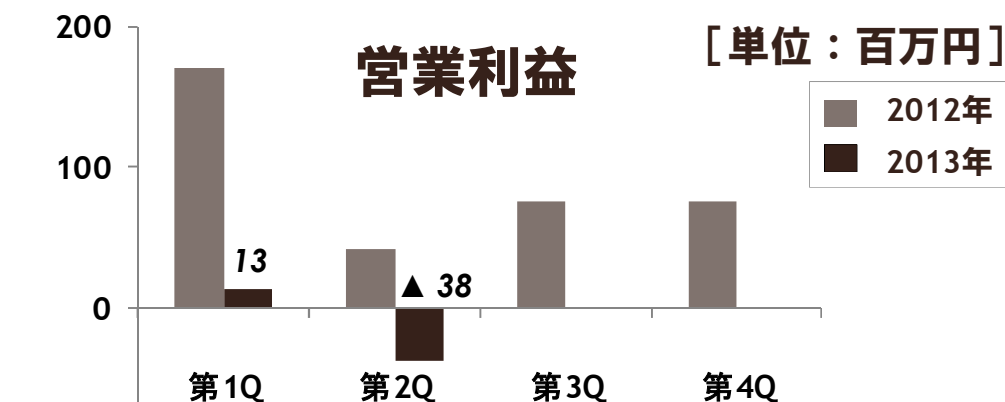
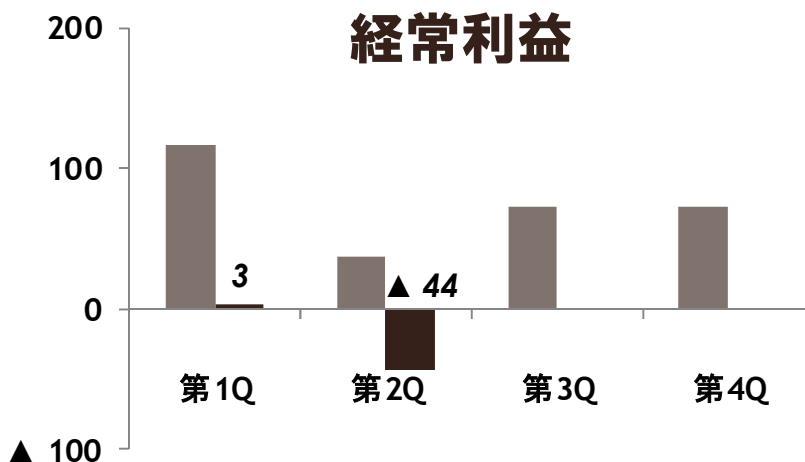
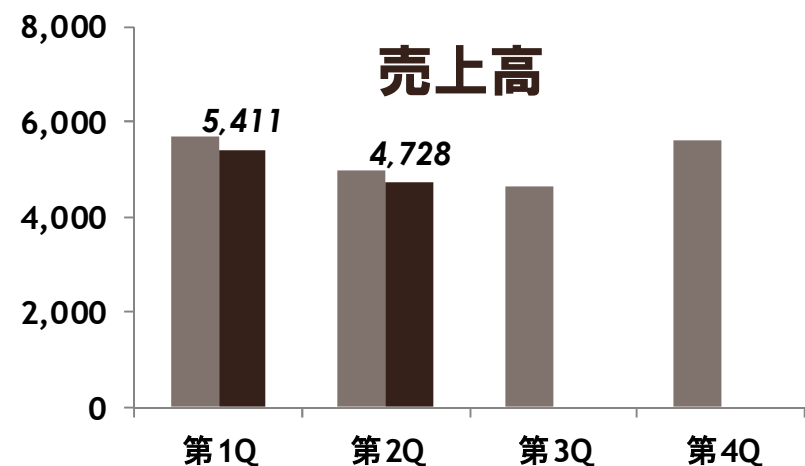


継続的な円安の進行による輸入商品における大幅な利益の減少



		2012/2Q	2013/2Q	増減額	[単位：百万円]
マーケティングサプライ 事業	売上	8,049	7,506	▲543	首都圏の中小事業所・量販店を中心にトナーカートリッジ・インクカートリッジの販売が減少。円安の進行により、売上・利益が減少。
	セグメント利益	256	154	▲101	
環境関連事業	売上	992	1,197	+205	産業用太陽光発電システムの案件等も加わり、太陽光発電システムの販売が順調に推移し売上高が伸長。
	セグメント利益	▲41	▲5	+35	
ファシリティ関連事業	売上	513	345	▲167	前期に大型移転案件があった為、前年比較では減少ながら、今期の業績は堅調に推移。
	セグメント利益	68	22	▲46	
ファニチャー事業	売上	461	434	▲27	円安の進行により、利益率が低下したことに加え、今後を見据えた事業拡大による費用増加により、利益が減少。
	セグメント利益	60	▲34	▲95	
その他の事業	売上	666	674	+8	上海子会社において、売上高の確保をするも、反日ムードの中、日系企業の業績低迷の影響を受け売上総利益が大幅に減少。
	セグメント利益	21	▲6	▲27	

08 | 四半期推移



第1四半期

円安の影響に加え、前年同期はファシリティ関連事業において大型の移転案件があったこともあり、前年同期と比較すると売上・利益が減少。

第2四半期

日銀金融政策発表の影響を受け、5月には月中平均レートで1ドル=100円を超えるなど、さらなる円安の進行により、輸入商品の販売において売上総利益が大幅に減少。

2013年12月期の見通し

09 | 2013年12月期 業績予想

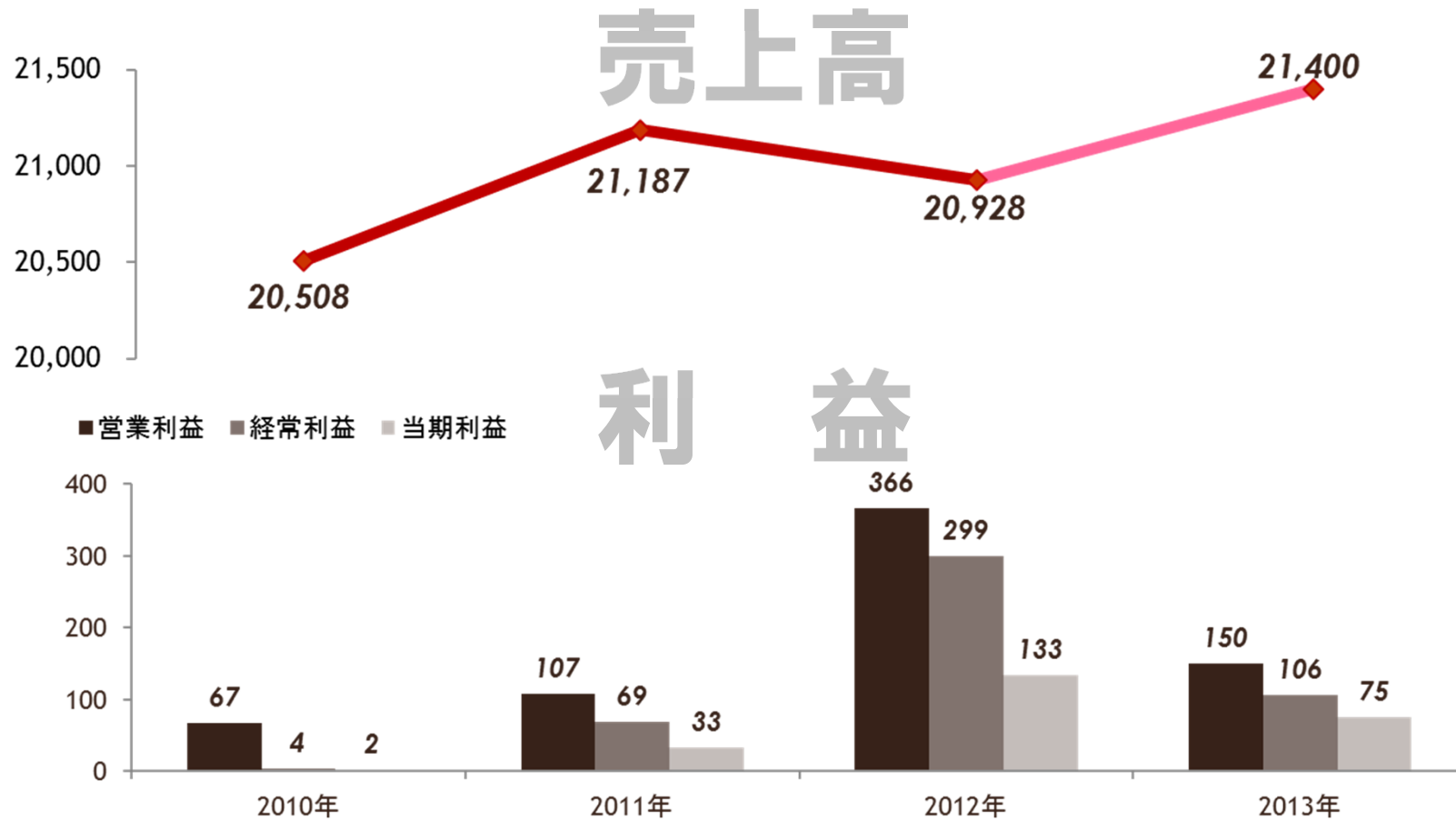
[単位：百万円]

通 期	2012年	2013年	増減
売 上 高	20,928	21,400	+2.3%
営 業 利 益	366	150	▲59.1%
経 常 利 益	299	106	▲64.7%
当 期 利 益	133	75	▲43.7%
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	2,725.22 円	1,534.53 円	▲1,190.69 円

引き続き既存販売先の活性化・新規商材の開拓による需要拡大に努めるとともに、事業収益性改善を目的とした経営改革を断行。軌道修正を図る。

10 | 業績推移

[単位：百万円]



コア事業の商流・商材の最適化による再構築
新規事業の評価・育成による経営資源の適正な配分

揺るぎない
事業基盤の確立

I R 窓 口

■ 所在地

〒104-0033

東京都中央区新川1丁目3番17号

新川三幸ビル6F

■ 担 当：経営企画室

Tel : 03-6731-3414

Fax : 03-6731-3413

Mail : ir@hbd.co.jp

注意事項

- ・この資料には、ハイブリッド・サービス(株)の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基く見込です。
- ・また経済動向、市場需要、為替変動、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も含んでおります。実際の業績は当社の見込とは異なることもあります。